

1 / 11

石岡市消防出初式、駅前で350人強がパレード 防火・防災意識の向上を呼び掛ける

はしご車を使った救助訓練



高さ約20mのビルからの降下訓練

令和2年を迎えて早2か月が経ちましたが、年の初めに、毎年、石岡市消防本部では「出初式」を開催しています。これは消防関係者の仕事始め式ともいえる行事で、各地区の消防団員400人が石岡小学校の校庭に集まり、点検を行ったのち、石岡市民会館で式典が行われました。

式典では、勤続10～30年の消防団員137人に表彰状が贈られました。消防団は、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、消火活動・救助活動を行う組織のこと。人口減少が進み、担い手不足という課題がある中で、地域の安心と安全を守るため、日々活動しています。式典後は、マーチングバンド・クレージュの演奏のもと、消防団員200人を先頭に、婦人防火クラブの皆さんや幼年消防クラブの園児たちが、駅前から御幸通りをパレードし、火災予防を呼びかけました。

3月1日～7日は春季火災予防週間。3月は最も火災が多い季節。火の始末には十分気を付けましょう。(関連15ページ)



マーチングバンド・クレージュ



地域の安心・安全のために活動する消防団員



石岡幼稚園の幼年消防クラブの踊り披露



20台を超える消防車両のパレード



住宅用火災警報器の設置を呼びかける
婦人防火クラブ

1
26

犯罪の防止と、罪を犯した人たちの更生に理解を呼び掛ける、「社会を明るくする運動」作文コンテストに385点の応募



当日は8人が表彰を受けたほか、市出身で江戸文字書家として活躍する橘吉也氏を講師に迎え、講演と筆耕実演、来場者に文字のプレゼントも行われました。

(受賞者・敬称略)
加藤咲太郎(杉並小6年) 橋本峻(石岡中2年) 今橋優愛(小幡小6年) 仲居凜菜(園部中2年) 小原舞美(府中小6年) 山下夏歩(園部中2年) 赤地結衣(高浜小6年) 羽成ららこ(石岡中3年)

社会を明るくする運動は、犯罪のない社会を目指し、令和2年で69回目を迎える国民運動です。

保護司などで構成されている社会を明るくする運動石岡市推進委員会は「犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくり」をテーマに作文コンテストを行い、市内小中学校から385作品の応募がありました。保護司は、犯罪や非行をした人たちと定期的に面接を行い、更生するための約束事を守るよう指導し、生活上の助言や就労の手助けを行っています。

2
3

常陸國總社宮の節分追儺祭 石岡の地酒をPR



常陸國總社宮で行われる節分追儺祭・豆まき式で「石岡の地酒で乾杯推進協議会」による一斉乾杯イベントが行われました。一斉乾杯には、ロックバンドM.U.C.C.のメンバーで石岡市出身、ふるさと大使も務めるミヤさんとYUKKEさんが参加。大勢のM.U.C.C.ファンが集まりました。当日は、来場者に酒かすを使った甘酒が振る舞われ、市内4蔵の地酒の試飲ができたほか、豆まきでカラーボールを取った人には地酒&オリジナルお猪口が贈られました。

1
16

恋瀬川について学ぼう 環境と防災について考える



県北地域や水戸市が台風による甚大な被害を受けた昨年。恋瀬川のそばに位置している半田地区では、住民の防災意識を高めようと茨城県環境アドバイザーの沼澤篤さんを招いて研修会を実施し、地域住民31人が参加しました。

「恋瀬川流域は、森林率が58%と高いため水質がよく生態系が豊か。そして、その森林が雨水の貯水機能も果たし、水害を防ぐ効果もある」という講師の話に、参加者は熱心に耳を傾けていました。